



令和6年度「西中っ子の心を見つめる教育週間」 土曜日授業を開催しました ご参観いただきました保護者の皆様、ありがとうございました

【7月6日(土)】1時間目:命の講話(一部要約)

今年は、私自身も「言葉」にこだわりたいと考えています。そこで、今年はお互いに命を守りあうために「言葉について」の話をしました。主な内容は以下の通りです。

古代の日本では、言葉には不思議な力が宿ると信じられており、発した言葉どおりの結果を現す力があると考えられていた。これを言霊(ことだま)という。

言葉の葉にも、繰り返し再生するという意味があり、そこからやはり言葉にも言ったことは繰り返し再生するという意味をもつ。

だから、口癖には気をつけてほしい。「無理。嫌だ。できない。どうせ。自分なんか。・・・」
こんな言葉を口癖にしてしまうと、このようなことが繰り返し身のまわりに起こってしまう。

次に、日本語の素晴らしさについて、ひらがなの五十音に注目してみよう。

「あい(=愛)」で始まり、「をん(=恩)」で終わる。まるで人生のようだ。愛を受けてこの世に生まれ、最後に恩の気持ちをもち、感謝して命を全うする。ぜひ、我々の命もこうありたい。

だから、この五十音から生まれる言葉も、どうせなら愛のある言葉、感謝の言葉を使いたい。
一番の感謝の言葉、それは「ありがとう」だ。この言葉は、魔法の言葉でもある。私も昨年意識して使っている。そうしたら、不思議とありがたいと思うようなことがたくさん、目の前に起こっている。生徒の皆さんの頑張る姿もまさにその一つ。「ありがとう」の反対語は「あたりまえ」

それから「お早くお起きになりまして、ご健康おめでとうございます」(=おはようございます)も、縁起のいい言葉。みんなで使おう。

最後に、命は受け継ぐもの、そしてこの命を未来に向けてつなげていくことが、生きているということ。

【7月6日(土)】2時間目:「特別の教科 道徳」

この日は、『SNS等におけるトラブルの実例をもとに、適切なメディアの取扱いについて理解を深める』という目標のもと、各学年ごとに「チーム道徳」として先生たちが協力してつくりあげた教材を使って、各学級で授業が実施されました。



【7月6日(土)】3時間目:学年・学級PTA及び懇談会

この時間は、各学年毎の裁量により実施されました。3年生は、まず全体で進路関係の説明があり、その後懇談会へ、1・2年生はそれぞれ学級懇談会として実施されました。

最終的にこの日は、1年生:60名、2年生:48名、3年生:59名の保護者の皆さんと、地域等から数名の方の参観をいただきました。改めて、学校へ足を運んでくださった皆さまに感謝申し上げます。

また、暑い中に汗を垂らしながら元気に登校してくれた生徒の皆さんにもお礼を言います。皆さんの素敵な取組や反応に感謝します。

ありがとうございました。

本日の学びがしっかりと継続されて、誰もが笑顔で過ごすことができる中学校になっていくことを、心から願っています。



令和6年度 生徒総会開催

6月28日(金)、令和6年度の生徒総会がリモートにより開催されました。早い時期から準備に取りかかった生徒会役員の皆さん、そして当日、議長として議事進行役を務めた、3年2組川崎真綾さん、2年4組高陽聖さん、大変お疲れ様でした。

当日の議事は、以下の通りです。

【議事】

第1号議案: 生徒会会則及び頭髪憲章について

第2号議案: 評議員会及び各専門委員会、活動報告と年間目標及び活動計画について

第3号議案: 西大村中学校をよりよくするための活動について

第3号議案の結果

- | | |
|-------------------------------|-------|
| ○提案1: 学校全体での交流を増やすために | |
| A「月1回、昼休みに各ブロックでブロック遊びを行う」 | 40.4% |
| B「学年ごとに球技大会を開催、各ブロックの点数を競い合う」 | 54.4% |
| C「新たな提案」 | 5.2% |
| ○提案2: あいさつを活性化させるために | |
| A「ワンストップあいさつを学校全体で行う」 | 41.4% |
| B「各ブロックであいさつ運動を行う」 | 47.7% |
| C「新たな提案」 | 10.9% |
| ○要望1: 「生徒会役員選挙規約の変更」 | |
| ・選挙準備期間3日が短かったので、長くしてほしい | |
| 賛成: 71.8% 反対: 28.2% | |
| ○要望2: 「応援団用のTシャツをつくりたい」 | |
| 賛成: 44.3% 反対: 55.7% | |

※下線部が決議された項目



【校長の思い】

生徒会活動は自治活動。自分たちの学校生活を自分たちの力で、豊かで幸せになるようくっついていこうという取組。そのリーダーである生徒会役員の皆さんには、ぜひ、いろんなことに挑戦してほしい。自ら動く生徒会であってほしいと願っています。一方、役員以外の生徒の皆さんには、次の2点に注意しながら、一緒に力を合わせて、誰もが安心・安全に過ごすことができる西大村中学校をつくってほしいと思います。

①自由とわがままは紙一重。福沢諭吉はこう言っている。「自由とわがままとの境は他人の妨げをなすとなさざるとの間にあり」

②マザー・テレサの言葉「愛の反対は憎しみではなく無関心である」どうか、無関心にならず、自由を責任をもって楽しんでほしい。今後の生徒の皆さんの活躍に、大いに期待しています。

プールで水泳の授業が始まっています。

暑い中、プールで水泳の授業が始まっています。傍で見ていると気持ちよさそうに見えますが、生徒たちは必死です。命を守るためにもしっかり頑張ってくださいね。

学校としては、安全配慮と管理を徹底してまいります。



早蒔きのひまわりが花を咲かせました



職員室前の用務員さんが早めに蒔いたひまわりが花を咲かせ始めました。



一方、生徒が先日蒔いたものはこんな感じ。みんなの笑顔のような花が咲くといいね。お世話を頼みます。

ひだまり学級の生徒による探求学習に感動しました

グラウンドで拾ったガラスに疑問を持った、ひだまり学級の生徒が探求学習を行いました。正面玄関に掲示してありますので、ぜひご覧ください。



社会を明るくする運動弁論大会

7月7日(日)、第74回“社会を明るくする運動”中学・高校生(大村・東彼杵地区)弁論大会が、さくらホールで開催されました。本校からは、3年3組小柳玲菜さんが、「ありがとうの重みを伝えたくて」の演題で出場しました。弁士紹介を3年5組川端みのりさんが務めました。2名とも出番が1番目という緊張の中で、堂々と立派に意見発表を行いました。結果は、敢闘賞を受賞しました。中学生の素晴らしい主張に感動しました。

